

令和4年度「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」結果検証 学校の概要

大阪市立今福小	学校	児童数	26
---------	----	-----	----

平均値

5年生	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20m シャトルラン	50m走	立ち幅とび	ソフトボール 投げ	体力合計点
男子	13.15	18.38	31.00	40.54	49.77	9.47	132.54	21.62	49.92
大阪市	16.11	18.44	33.14	38.26	42.95	9.59	148.22	20.07	50.83
全国	16.21	18.86	33.97	40.36	45.92	9.53	150.83	20.31	52.28
女子	15.08	12.27	35.17	35.45	26.91	10.55	116.91	12.45	44.82
大阪市	16.01	17.55	38.00	36.50	34.13	9.76	140.76	12.77	52.65
全国	16.10	17.97	38.18	38.66	36.97	9.70	144.55	13.17	54.31

結果の概要

男子においては8種目のうち、「反復横とび」「20mシャトルラン」「50m走」「ソフトボール投げ」の4種目で全国の平均を上回った。女子においては8種目すべて大阪市を下回った。体力合計点は男女とも全国を下回っている。「運動やスポーツをすることは好きですか」という質問には、男子の84.6%、女子の58.3%が「好き」と回答し、全国を上回っている。男子も女子も「好き」「やや好き」を合わせると100%となっている。一方1週間の総運動量が60分未満の割合は男子が0%(全国8.8%)女子は8.3%(全国14.6%)だった。

これまでの取組の成果と今後取り組むべき課題

今般のコロナ禍における教育活動の制限に伴い、従来から行っていた「なわとび週間」や「かけあし週間」などの取り組みが2年間休止していたことなどから、児童の持久力や瞬発力の低下に影響していると考ええる。体育の学習や運動することに対しては、授業中の課題に応じた場の設定や、互いに教えあう時間をとったりすることなどにより、運動の楽しさを感じさせることができている。また、夢授業を活用し、オリンピック選手から話を聞いたり、実技指導をしてもらったりすることも運動への興味関心を高め、生涯において運動とかかわる意識を持たせることにつながると考える。高学年になってくると休み時間に運動場へ出て活動する児童が限られてくるため、委員会活動で体育遊具を貸出ししたり、学級全員や縦割り班で遊ぶ時間を作ったりして、少しでも運動量を増やすようにし、体を動かす楽しさや、気持ちよさを感じさせていきたい。